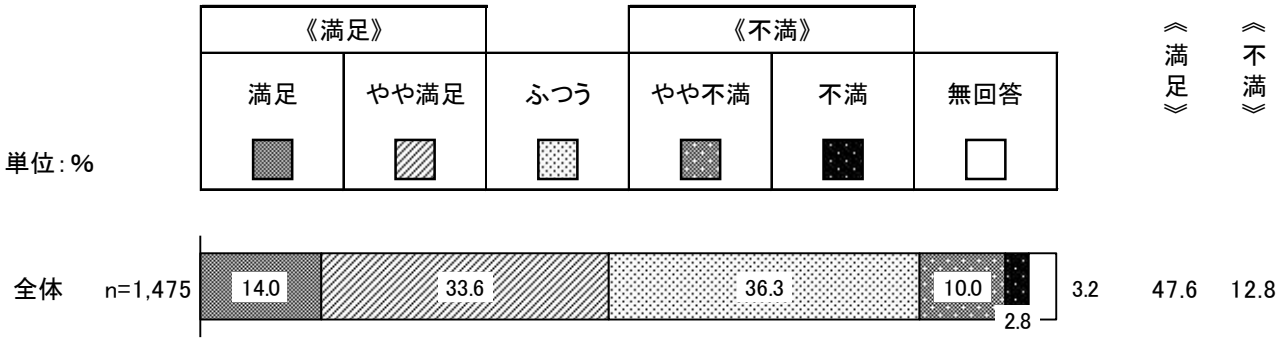
2　産業・観光について

（1）川越市の観光への満足度

◇《満足》が 47.6%

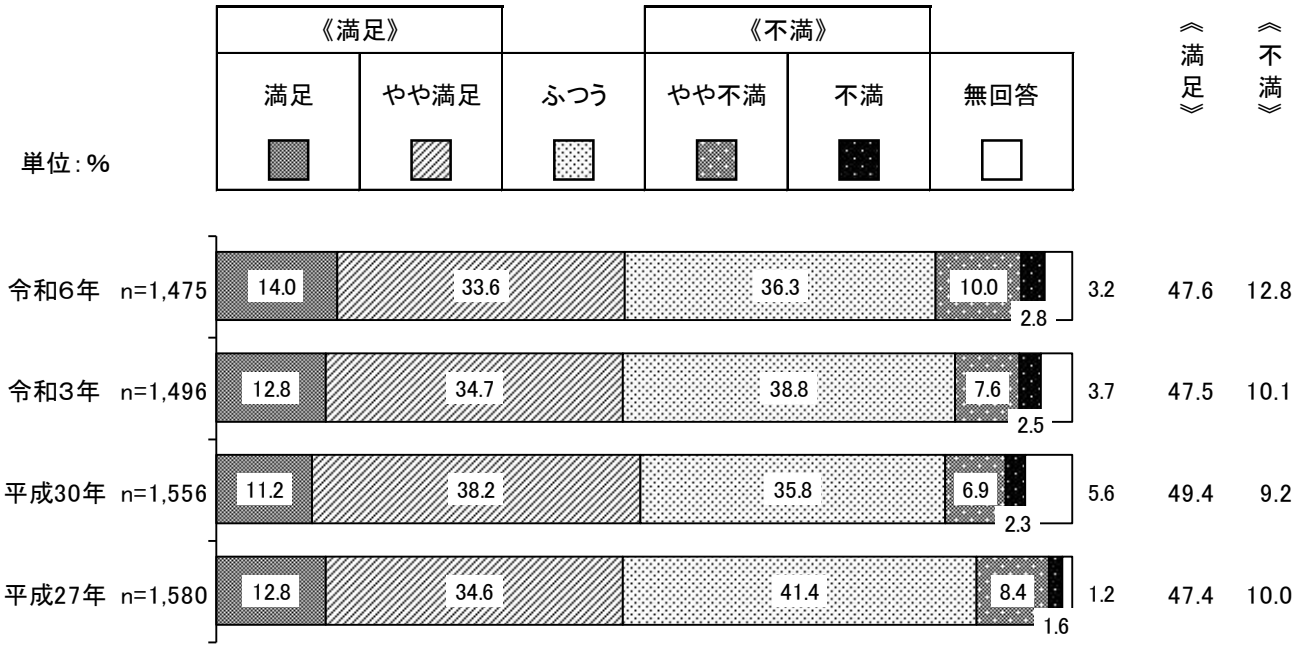
問7　あなたは、川越市の観光について、どのように感じていますか。（1つのみ）

川越市の観光への満足度については、「満足」、「やや満足」の合計値《満足》が 47.6%である一方、「やや不満」、「不満」の合計値《不満》は 12.8%と、《満足》が 34.8 ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《満足》は過去の調査結果と大きな差はみられないが、「普通」が減少し、《不満》が増加傾向にある。



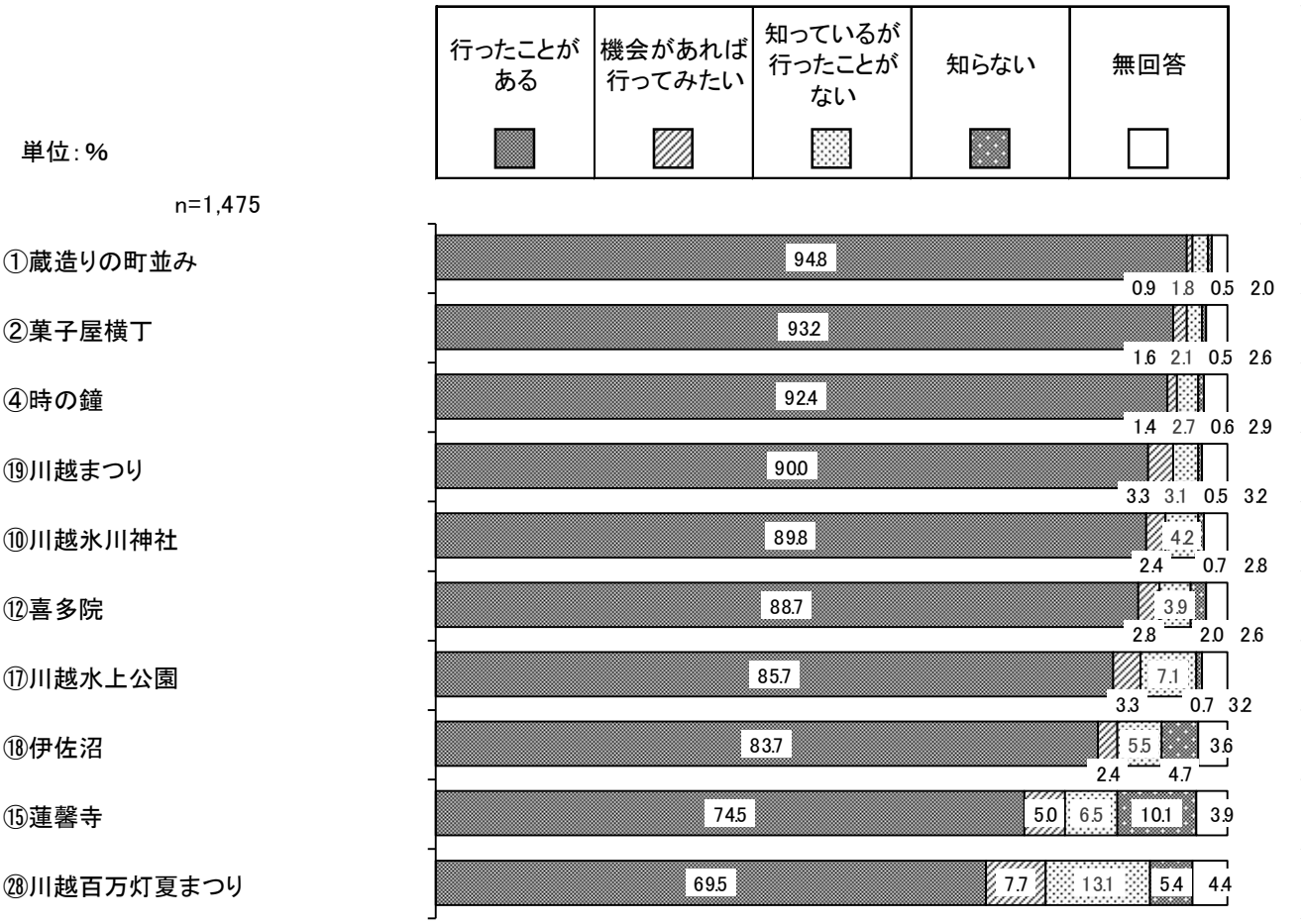
（２）川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況

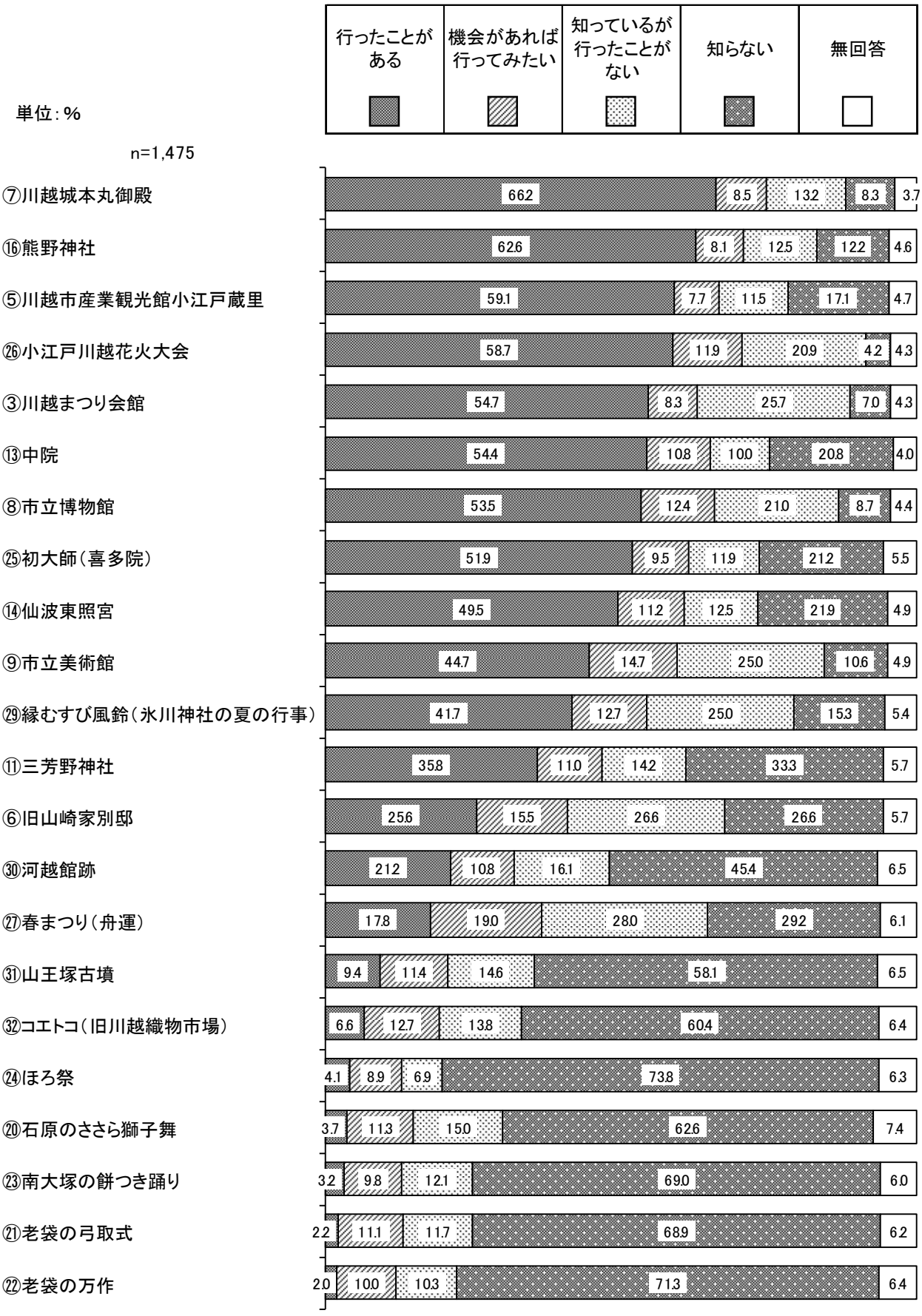
◇「行ったことがある」は『①蔵造りの町並み』が 94.8%

問８　市内には多くの観光スポットや伝統行事がありますが行ったこと（見たこと）がありますか。また、①から㉜の項目で次世代に残したいと思うもの（文化財）を３つ選んで回答欄に項目番号を記入してください。※①から㉜のそれぞれに回答してください。（それぞれ１つのみ）
※回答欄に項目番号を３つ記入してください。

川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況について、「行ったことがある」では、『①蔵造りの町並み』が 94.8%で最も高く、次いで『②菓子屋横丁』が 93.2%、『④時の鐘』が 92.4%、『⑲川越まつり』が 90.0%となっている。なお、４項目で９割以上、18 項目で５割以上となっている。

「機会があれば行ってみたい」では、『㉗春まつり（舟運）』が 19.0%で最も高くなっている。また、「知っているが行ったことがない」では、『㉗春まつり（舟運）』が 28.0%で最も高くなっている。一方で、「知らない」では、『㉔ほろ祭』が 73.8%で最も高く、次いで『㉒老袋の万作』が 71.3%、『㉓南大塚の餅つき踊り』が 69.0%、『㉑老袋の弓取式』が 68.9%となっている。

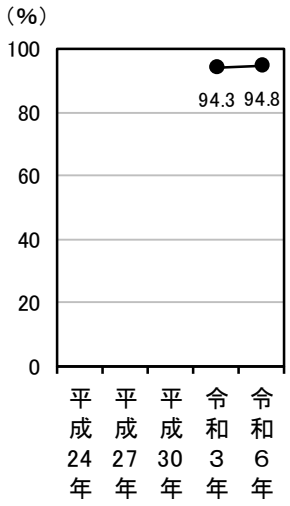



行ったことがある
機会があれば行ってみたい
知っているが行ったことがない
知らない
無回答
単位：%
n=1,475
⑦川越城本丸御殿 66.2 8.5 13.2 8.3 3.7
⑯熊野神社 62.6 8.1 12.5 12.2 4.6
⑤川越市産業観光館小江戸蔵里 59.1 7.7 11.5 17.1 4.7
㉖小江戸川越花火大会 58.7 11.9 20.9 4.2 4.3
③川越まつり会館 54.7 8.3 25.7 7.0 4.3
⑬中院 54.4 10.8 10.0 20.8 4.0
⑧市立博物館 53.5 12.4 21.0 8.7 4.4
㉕初大師（喜多院） 51.9 9.5 11.9 21.2 5.5
⑭仙波東照宮 49.5 11.2 12.5 21.9 4.9
⑨市立美術館 44.7 14.7 25.0 10.6 4.9
㉙縁むすび風鈴（氷川神社の夏の行事） 41.7 12.7 25.0 15.3 5.4
⑪三芳野神社 35.8 11.0 14.2 33.3 5.7
⑥旧山崎家別邸 25.6 15.5 26.6 26.6 5.7
㉚河越館跡 21.2 10.8 16.1 45.4 6.5
㉗春まつり（舟運） 17.8 19.0 28.0 29.2 6.1
㉛山王塚古墳 9.4 11.4 14.6 58.1 6.5
㉜コエトコ（旧川越織物市場） 6.6 12.7 13.8 60.4 6.4
㉔ほろ祭 4.1 8.9 6.9 73.8 6.3
⑳石原のささら獅子舞 3.7 11.3 15.0 62.6 7.4
㉓南大塚の餅つき踊り 3.2 9.8 12.1 69.0 6.0
㉑老袋の弓取式 2.2 11.1 11.7 68.9 6.2
㉒老袋の万作 2.0 10.0 10.3 71.3 6.4

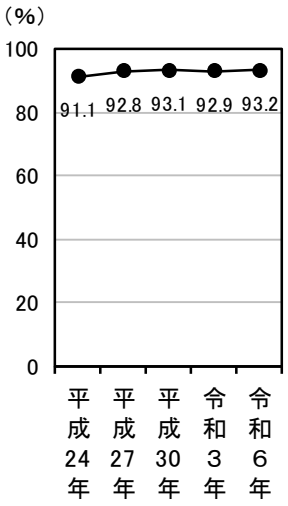
■ 時系列での比較（「行ったことがある」上位８項目）

上位８項目を時系列でみると、『⑲川越まつり』は令和３年度と比べ5.7ポイント増加し、おおむね平成30年度に並んだ。『⑩川越氷川神社』、『⑫喜多院』、『⑱伊佐沼』など、令和３年度に減少した項目も、増加傾向に転じている。

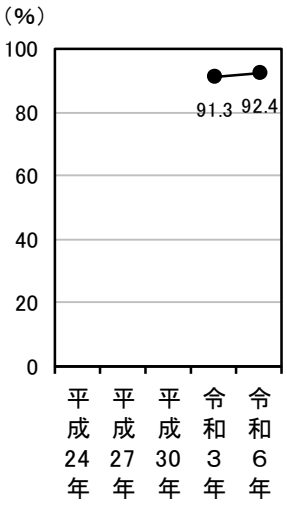
①蔵造りの町並み



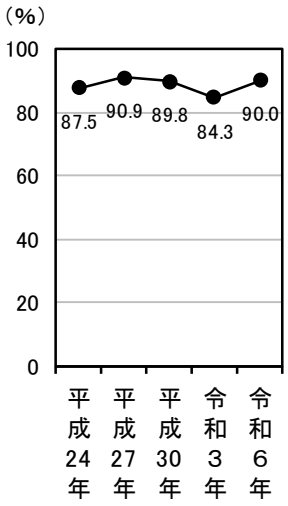
②菓子屋横丁



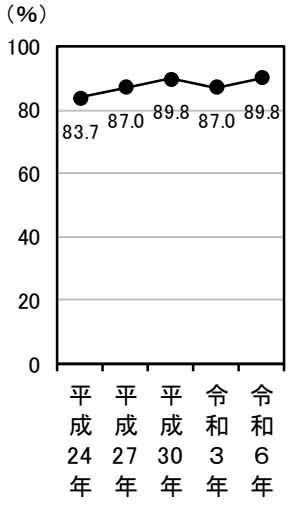
④時の鐘



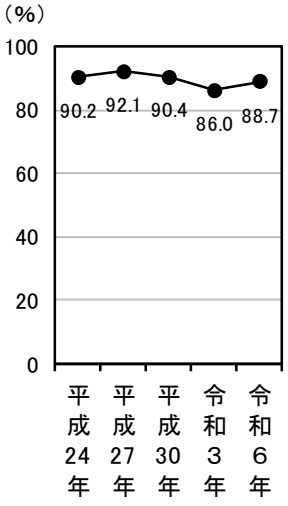
⑲川越まつり



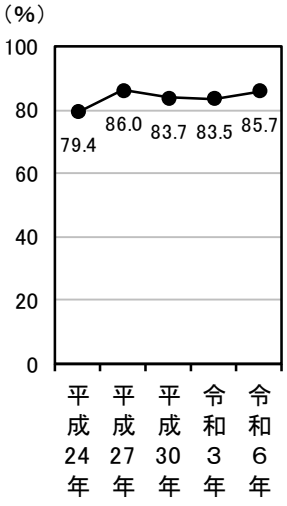
⑩川越氷川神社



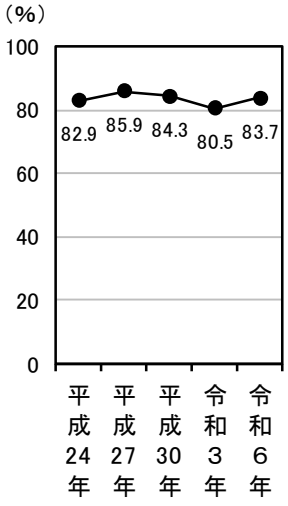
⑫喜多院



⑰川越水上公園



⑱伊佐沼



■ 性別・年代列（「行ったことがある」上位 10 項目）

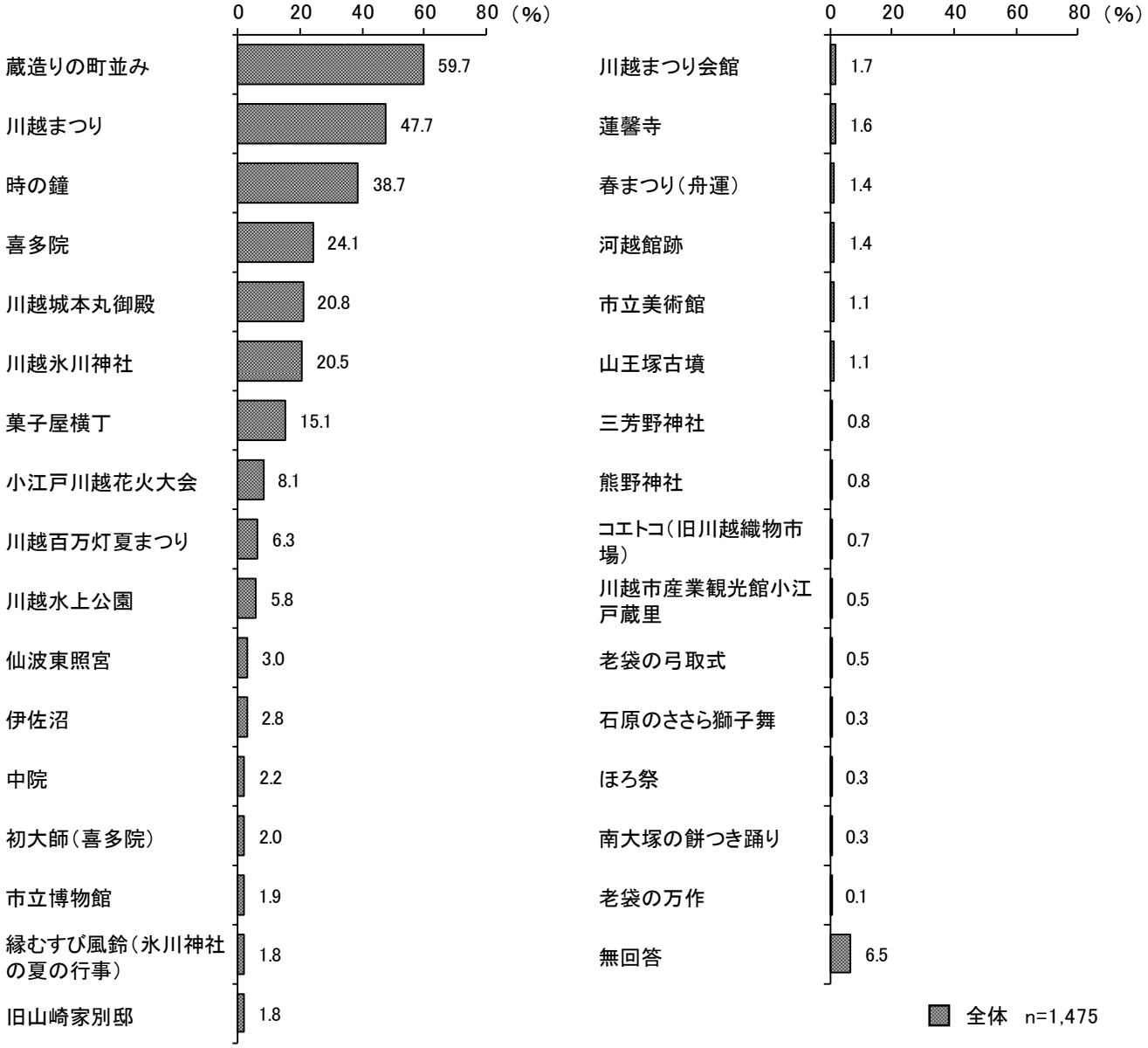
「行ったことがある」の上位 10 項目を性別・年代列でみると、『①蔵造りの町並み』はすべての年代、『②菓子屋横丁』、『④時の鐘』は男性 50 歳代を除き 9 割以上となっている。

単位：%	① 蔵造りの町並み	② 菓子屋横丁	④ 時の鐘	⑲ 川越まつり	⑩ 川越氷川神社
全体　n=1,475	94.8	93.2	92.4	90.0	89.8
【性別・年代別】					
男性　n=597	93.8	92.5	90.6	88.8	88.4
男性18・19歳　n=12	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
男性20歳代　n=50	90.0	90.0	90.0	88.0	84.0
男性30歳代　n=53	90.6	94.3	92.5	81.1	88.7
男性40歳代　n=83	91.6	90.4	90.4	88.0	85.5
男性50歳代　n=120	92.5	88.3	85.8	90.0	88.3
男性60歳代　n=113	98.2	97.3	93.8	89.4	88.5
男性70歳以上　n=166	94.6	92.8	91.0	89.8	90.4
女性　n=829	96.1	94.5	94.2	91.6	91.2
女性18・19歳　n=5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
女性20歳代　n=57	93.0	96.5	94.7	84.2	96.5
女性30歳代　n=94	96.8	94.7	94.7	91.5	93.6
女性40歳代　n=148	95.3	95.3	94.6	91.9	90.5
女性50歳代　n=174	97.1	96.6	96.0	94.8	91.4
女性60歳代　n=141	95.7	92.9	92.9	92.9	91.5
女性70歳以上　n=209	96.7	92.3	92.8	89.5	88.5

単位：%	⑫ 喜多院	⑰ 川越水上公園	⑱ 伊佐沼	⑮ 蓮馨寺	㉘ 川越百万灯夏まつり
全体　n=1,475	88.7	85.7	83.7	74.5	69.5
【性別・年代別】					
男性　n=597	87.1	86.3	84.4	70.5	65.3
男性18・19歳　n=12	91.7	91.7	91.7	75.0	83.3
男性20歳代　n=50	74.0	90.0	74.0	62.0	60.0
男性30歳代　n=53	77.4	90.6	71.7	56.6	69.8
男性40歳代　n=83	81.9	85.5	80.7	57.8	67.5
男性50歳代　n=120	85.0	85.0	84.2	70.0	63.3
男性60歳代　n=113	92.0	86.7	89.4	78.8	69.0
男性70歳以上　n=166	94.6	84.3	89.8	78.3	62.0
女性　n=829	90.6	85.9	83.8	78.5	73.1
女性18・19歳　n=5	80.0	80.0	60.0	60.0	80.0
女性20歳代　n=57	82.5	82.5	73.7	61.4	77.2
女性30歳代　n=94	80.9	85.1	78.7	69.1	68.1
女性40歳代　n=148	89.9	89.2	87.2	76.4	80.4
女性50歳代　n=174	94.3	90.8	86.2	79.9	74.1
女性60歳代　n=141	94.3	86.5	92.2	85.8	75.9
女性70歳以上　n=209	92.3	80.4	79.4	83.3	66.0

■ 次世代に残したいと思う文化財

次世代に残したいと思う文化財については、「蔵造りの町並み」が 59.7%で最も高く、次いで、「川越まつり」が 47.7%、「時の鐘」が 38.7%、「喜多院」が 24.1%となっている。

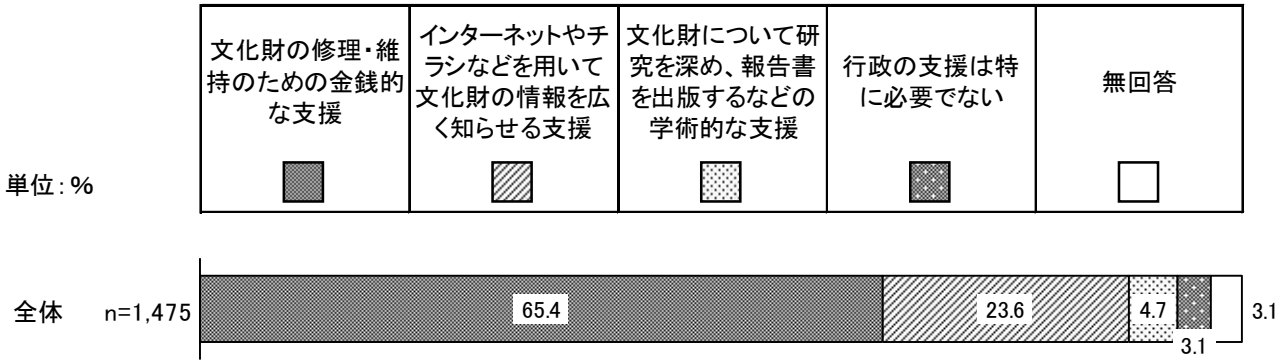


（３）文化財保護のため、行政が行うべき支援

◇「文化財の修理・維持のための金銭的な支援」が 65.4%

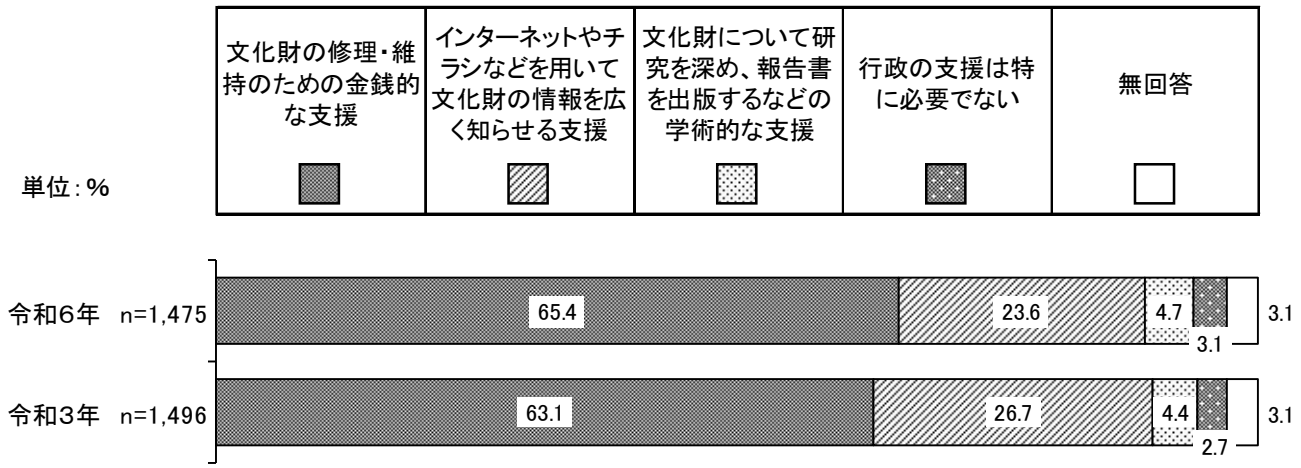
問９　文化財の保存・活用のため、行政が行うべき支援は何だと思いますか。（１つのみ）

文化財保護のため、行政が行うべき支援については、「文化財の修理・維持のための金銭的な支援」が 65.4%で最も高く、次いで「インターネットやチラシなどを用いて文化財の情報を広く知らせる支援」が 23.6%、「文化財について研究を深め、報告書を出版するなどの学術的な支援」が 4.7%、「行政の支援は特に必要でない」が 3.1%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。

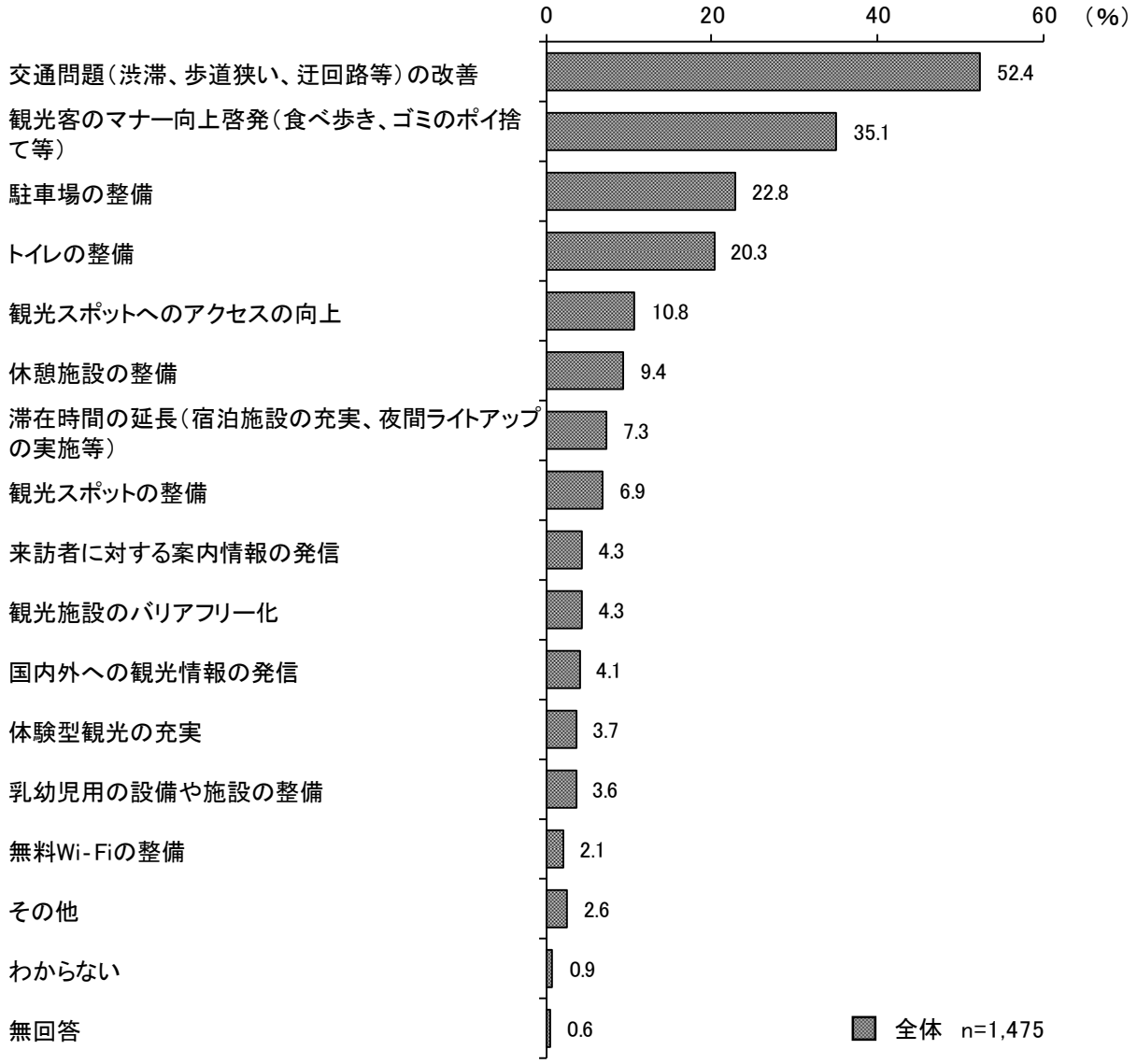


（４）観光振興のために必要な施策

◇「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」が 52.4%

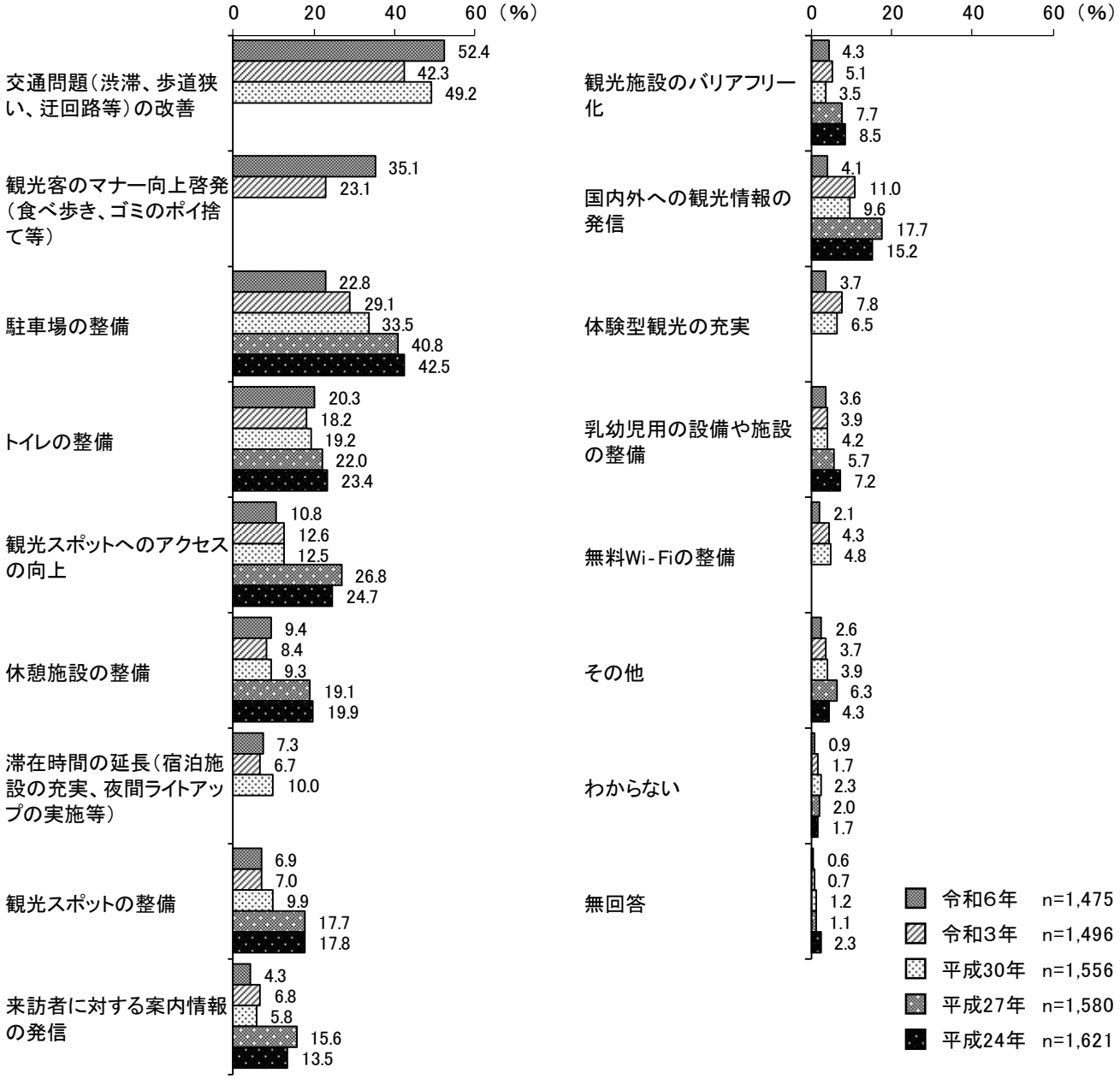
問 10　あなたは、住民が住みやすく、観光客が快適に滞在できる街になるためにどのような施策が必要だと思いますか。次の中から２つ以内で選んでください。（２つまで）

観光振興のために必要な施策については、「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」が 52.4%で最も高く、次いで「観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）」が 35.1%、「駐車場の整備」が 22.8%、「トイレの整備」が 20.3%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」、「観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）」は、令和３年度と比べ１割以上増加している。一方、「駐車場の整備」は減少傾向が続いており、令和３年度と比べ6.3ポイント減少している。また、「観光スポットへのアクセスの向上」、「休憩施設の整備」、「観光スポットの整備」、「国内外への観光情報の発信」についても、平成24年度と比べ１割以上減少している。



※「体験型観光の充実」、「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」、「滞在時間の延長（宿泊施設の充実、夜間ライトアップの実施等）」、「無料 Wi-Fi の整備」は、平成 30 年から追加された選択肢。

※「観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）」は、令和3年から追加された選択肢。

■ 性別・年代列（上位６項目）

上位６項目を性別・年代列でみると、「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」は、男性全年代、女性 20 歳代以上で１位となっており、男性 20 歳代、40～60 歳代、女性 20～50 歳代などで５割を超えている。「観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等)」は女性でより高く、女性 50 歳代以上は４割台となっている。「駐車場の整備」は男性でより高く、男性 20 歳代、70 歳以上は３割台となっている。

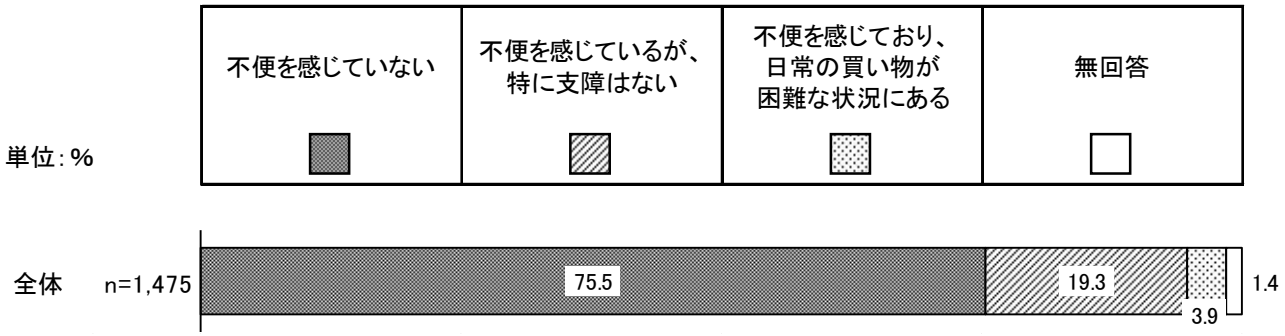
単位：%	交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善	観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）	駐車場の整備	トイレの整備	観光スポットへのアクセスの向上	休憩施設の整備
全体 n=1,475	52.4	35.1	22.8	20.3	10.8	9.4
【性別・年代別】						
男性 n=597	52.3	30.0	26.0	21.4	11.4	11.4
男性18・19歳 n=12	66.7	16.7	25.0	8.3	33.3	8.3
男性20歳代 n=50	60.0	32.0	32.0	16.0	10.0	6.0
男性30歳代 n=53	43.4	30.2	22.6	20.8	18.9	11.3
男性40歳代 n=83	60.2	26.5	22.9	14.5	12.0	9.6
男性50歳代 n=120	60.8	29.2	22.5	21.7	10.8	10.0
男性60歳代 n=113	56.6	31.9	23.0	20.4	10.6	12.4
男性70歳以上 n=166	38.6	31.3	31.3	28.3	8.4	14.5
女性 n=829	52.5	39.0	20.9	19.7	10.3	8.0
女性18・19歳 n=5	40.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0
女性20歳代 n=57	57.9	33.3	17.5	21.1	14.0	8.8
女性30歳代 n=94	56.4	29.8	28.7	24.5	9.6	5.3
女性40歳代 n=148	59.5	37.2	18.9	19.6	12.8	5.4
女性50歳代 n=174	60.3	41.4	19.5	14.4	12.6	6.9
女性60歳代 n=141	44.7	42.6	20.6	22.0	8.5	6.4
女性70歳以上 n=209	43.1	40.7	21.5	20.1	6.7	12.9

（５）買い物の状況

◇「不便を感じていない」が 75.5%

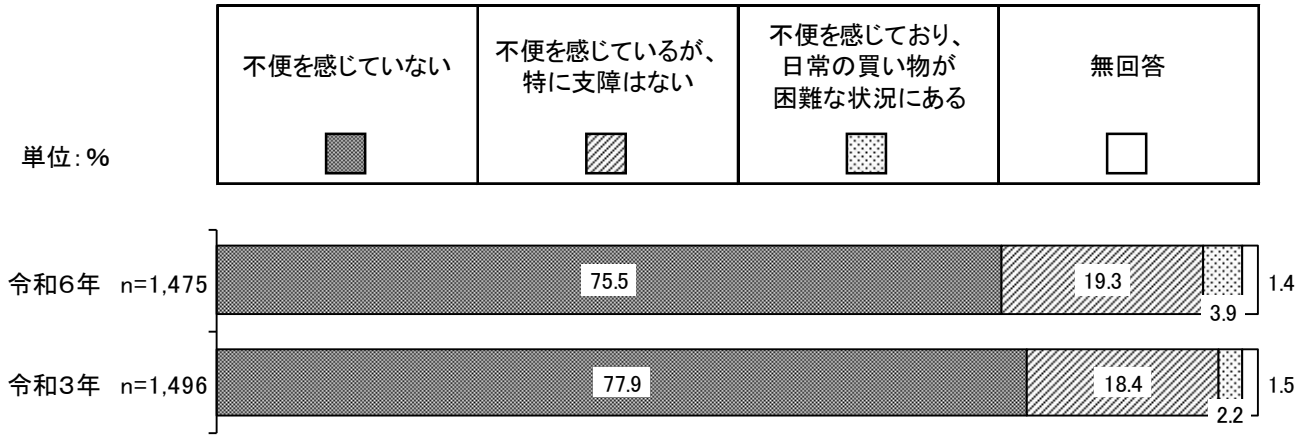
問 11　食料品等の日常の買い物で不便を感じていますか。（１つのみ）

買い物の状況については、「不便を感じていない」が 75.5%で最も高く、次いで「不便を感じているが、特に支障はない」が 19.3%、「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」が 3.9%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。



■ 居住区別

居住区別でみると、「不便を感じていない」では、『霞ケ関北地区』が 92.3%で最も高く、全ての地区で５割以上となっている。また、「不便を感じているが、特に支障はない」では、『古谷地区』が 40.7%で最も高くなっている。一方、「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」では、『名細地区』が 10.4%で最も高く、次いで『芳野地区』が 6.8%、『古谷地区』が 6.8%となっている。

単位：%	不便を感じていない	不便を感じているが、特に支障はない	不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある	無回答
全体　n=1,475	75.5	19.3	3.9	1.4
【居住地区別】				
本庁地区　n=330	85.5	12.1	2.1	0.3
芳野地区　n=44	52.3	36.4	6.8	4.5
古谷地区　n=59	52.5	40.7	6.8	0.0
南古谷地区　n=131	82.4	13.0	3.1	1.5
高階地区　n=157	77.1	20.4	1.9	0.6
福原地区　n=94	71.3	22.3	3.2	3.2
大東地区　n=138	66.7	26.8	5.1	1.4
霞ケ関地区　n=163	76.1	21.5	2.5	0.0
川鶴地区　n=71	87.3	12.7	0.0	0.0
霞ケ関北地区　n=52	92.3	5.8	0.0	1.9
名細地区　n=96	67.7	20.8	10.4	1.0
山田地区　n=77	68.8	26.0	3.9	1.3

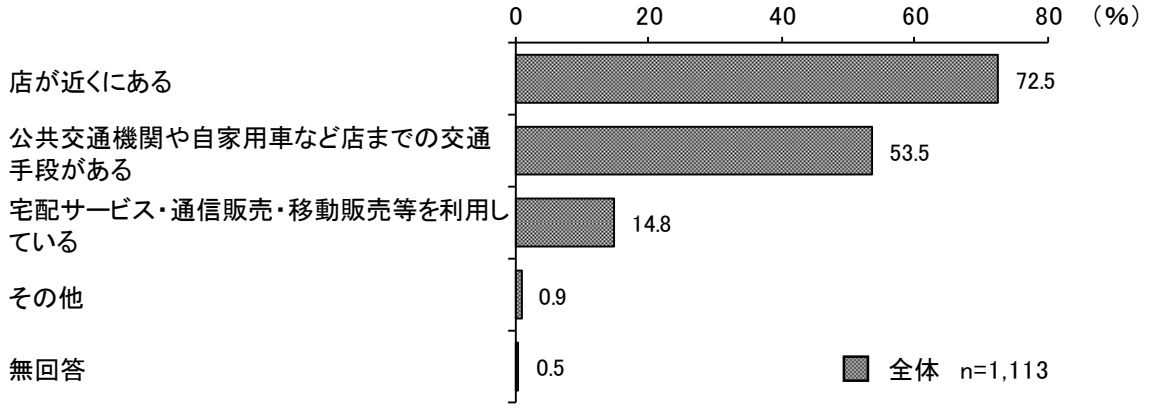
（6）買い物で不便を感じていない理由

◇「店が近くにある」が 72.5%

【問 11 で「不便を感じていない」と回答した方におたずねします。】

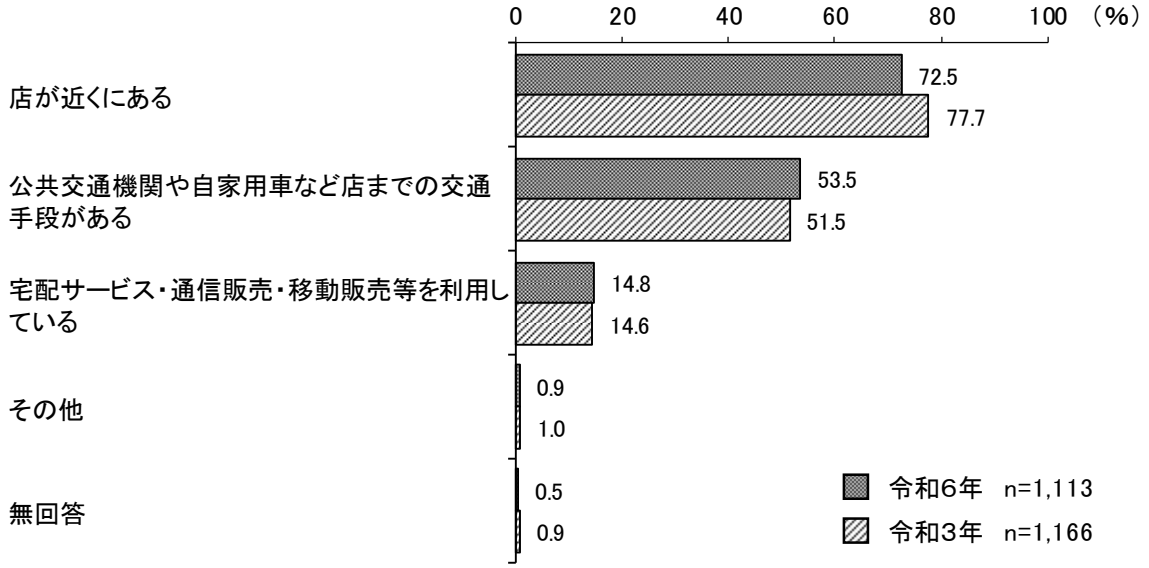
問 11－1　あなたが日常の買い物に不便を感じていない理由は何ですか。（いくつでも）

買い物で不便を感じていない理由については、「店が近くにある」が 72.5%で最も高く、次いで「公共交通機関や自家用車など店までの交通手段がある」が 53.5%、「宅配サービス・通信販売・移動販売等を利用している」が 14.8%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「店が近くにある」は、前回調査と比べ 5.2 ポイント減少している。



■ 居住区別

居住区別でみると、「店が近くにある」では、『霞ケ関北地区』が 89.6%で最も高く、次いで『本庁地区』が 83.3%、『霞ケ関地区』が 81.5%となっている。「店が近くにある」は、『本庁地区』、『南古谷地区』、『高階地区』、『大東地区』、『霞ケ関地区』、『川鶴地区』、『霞ケ関北地区』で１位となっている。「公共交通機関や自家用車など店までの交通手段がある」では、『古谷地区』が 83.9%で最も高く、次いで『名細地区』が 75.4%、『芳野地区』が 73.9%となっている。「公共交通機関や自家用車など店までの交通手段がある」は、『芳野地区』、『古谷地区』、『福原地区』、『名細地区』、『山田地区』で１位となっている。

単位:%	店が近くにある	公共交通機関や自家用車など店までの交通手段がある	宅配サービス・通信販売・移動販売等を利用している	その他	無回答
全体 n=1,113	72.5	53.5	14.8	0.9	0.5
【居住地区別】					
本庁地区 n=282	83.3	48.2	16.0	0.7	0.4
芳野地区 n=23	34.8	73.9	13.0	0.0	0.0
古谷地区 n=31	41.9	83.9	22.6	0.0	0.0
南古谷地区 n=108	75.9	49.1	12.0	0.9	0.9
高階地区 n=121	72.7	48.8	9.1	0.8	0.0
福原地区 n=67	55.2	71.6	14.9	1.5	0.0
大東地区 n=92	71.7	54.3	17.4	0.0	0.0
霞ケ関地区 n=124	81.5	46.0	23.4	0.8	0.0
川鶴地区 n=62	74.2	64.5	9.7	1.6	1.6
霞ケ関北地区 n=48	89.6	27.1	18.8	2.1	0.0
名細地区 n=65	49.2	75.4	10.8	3.1	0.0
山田地区 n=53	50.9	58.5	5.7	0.0	5.7

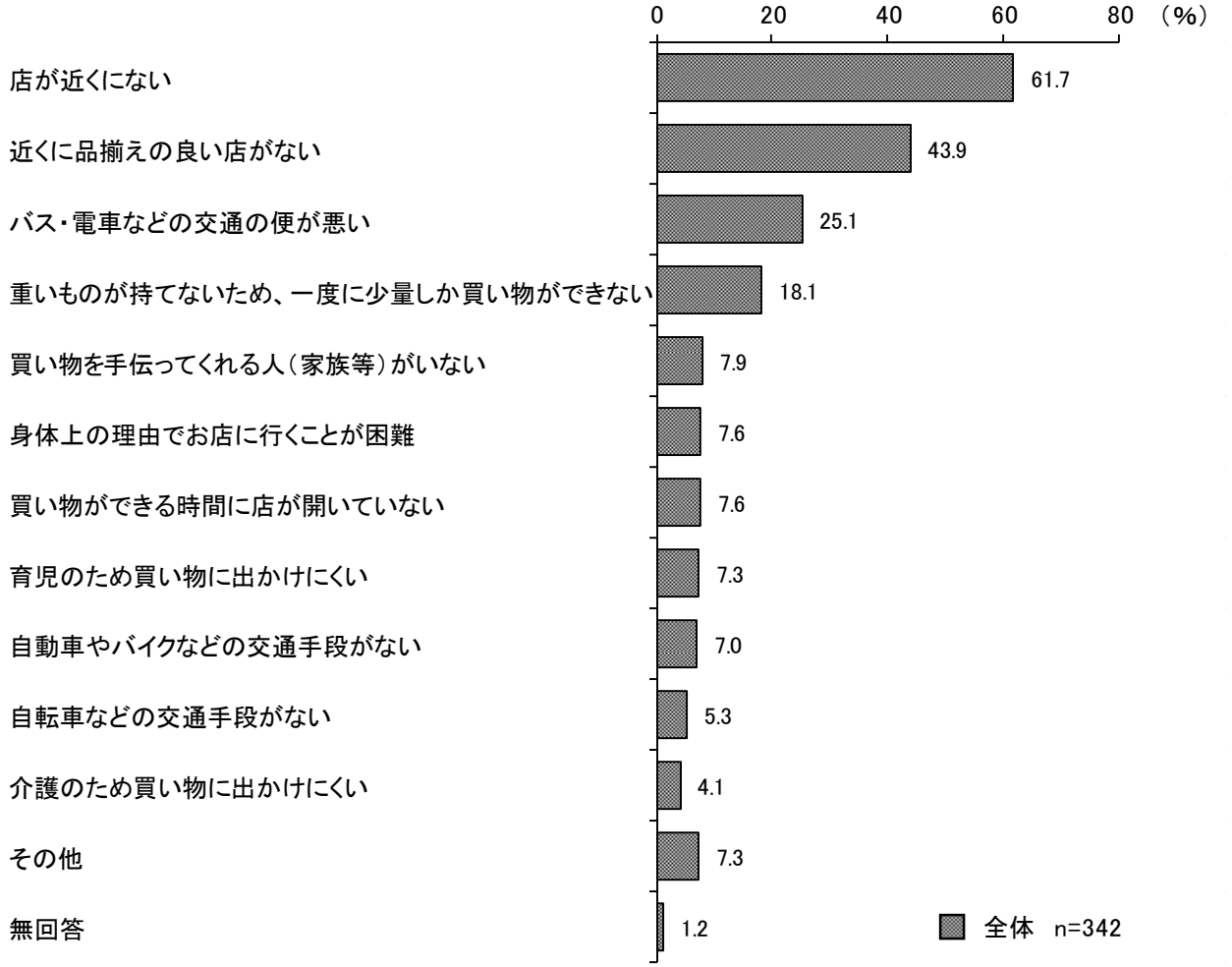
（7）買い物で不便を感じている理由

◇「店が近くにない」が 61.7%

【問 11 で「不便を感じているが、特に支障はない」「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」と回答した方におたずねします。】

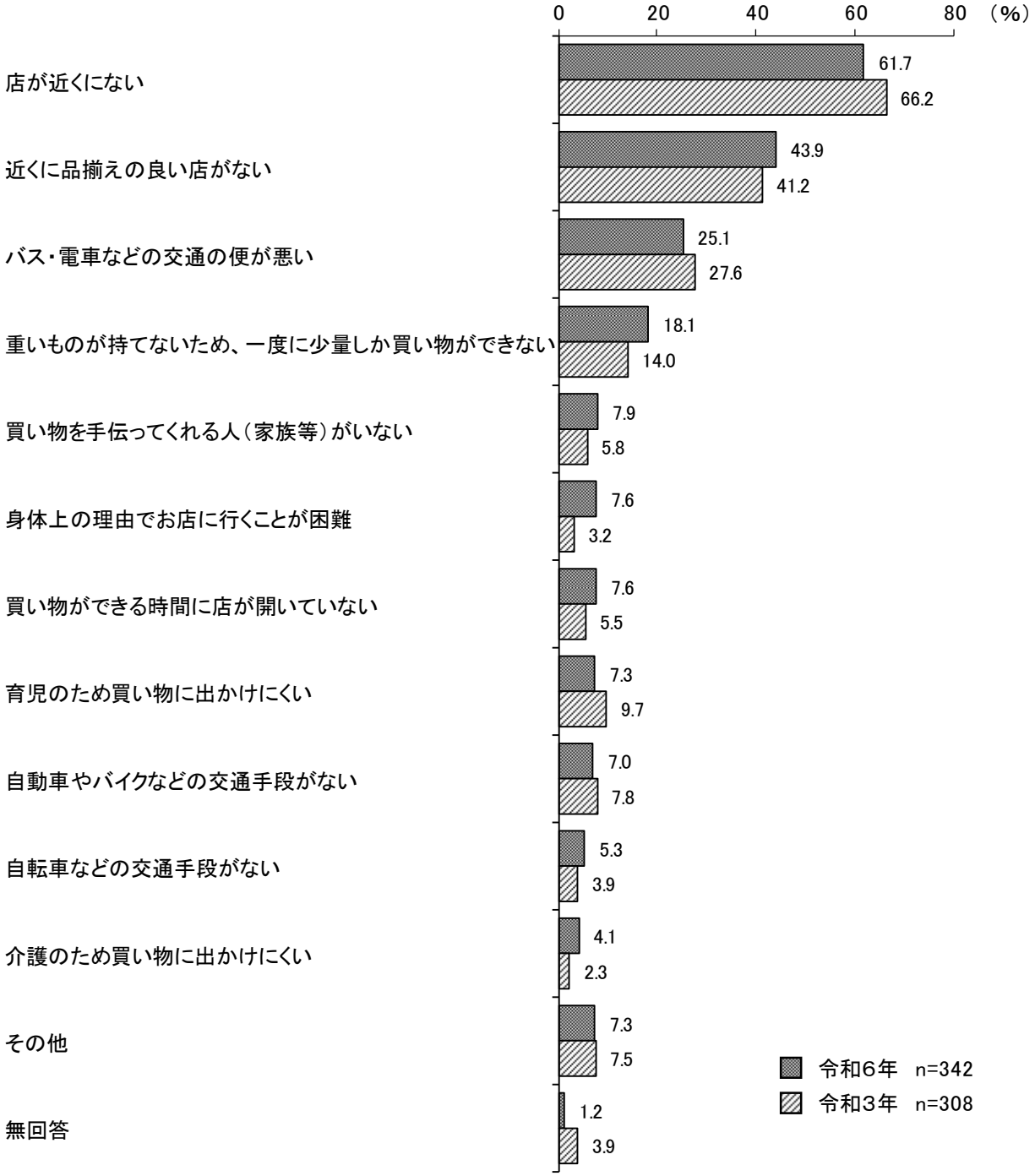
問 11－2　あなたが日常の買い物で不便を感じている理由は何ですか。（いくつでも）

買い物で不便を感じている理由については、「店が近くにない」が 61.7%で最も高く、次いで「近くに品揃えの良い店がない」が 43.9%、「バス・電車などの交通の便が悪い」が 25.1%、「重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない」が 18.1%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「身体上の理由でお店に行くことが困難」は、前回調査と比べ 4.4 ポイント、「重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない」は 4.1 ポイント増加している。一方、「店が近くにない」は 4.5 ポイント減少している。



■ 居住区別（上位６項目）

上位６項目を居住区別でみると、「店が近くにない」では、『芳野地区』が 89.5%で最も高く、次いで『名細地区』が 83.3%、『山田地区』が 73.9%となっている。「店が近くにない」は、９地区で１位となっている。「近くに品揃えの良い店がない」では、『霞ケ関北地区』が 66.7%で最も高く、次いで『古谷地区』が 64.3%、『南古谷地区』が 57.1%となっている。「近くに品揃えの良い店がない」は、『霞ケ関地区』、『川鶴地区』、『霞ケ関北地区』で１位となっている。

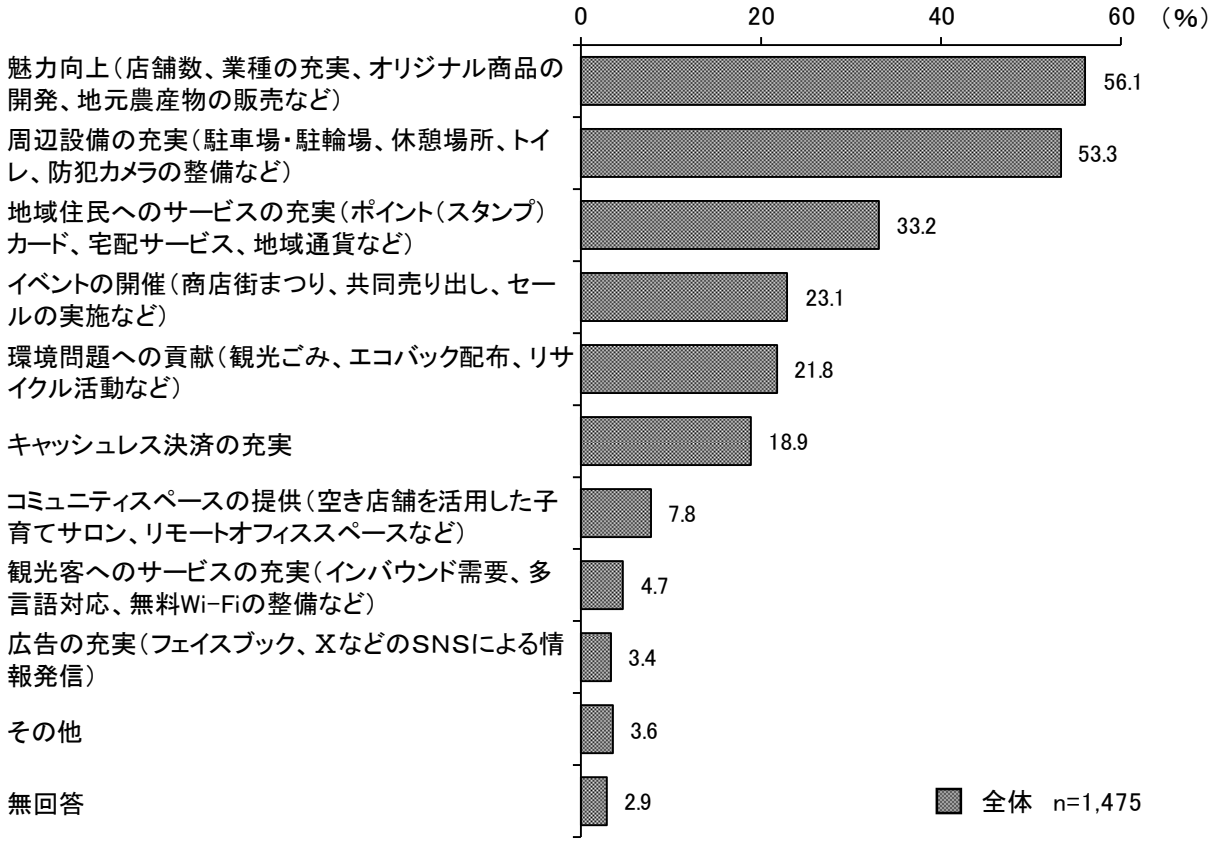
単位：%	店が近くにない	近くに品揃えの良い店がない	バス・電車などの交通の便が悪い	重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない	買い物を手伝ってくれる人（家族等）がいない	身体上の理由でお店に行くことが困難
全体　n=342	61.7	43.9	25.1	18.1	7.9	7.6
【居住地区別】						
本庁地区　n=47	40.4	36.2	10.6	21.3	14.9	10.6
芳野地区　n=19	89.5	26.3	42.1	10.5	0.0	5.3
古谷地区　n=28	71.4	64.3	46.4	21.4	3.6	0.0
南古谷地区　n=21	61.9	57.1	33.3	38.1	4.8	19.0
高階地区　n=35	51.4	42.9	20.0	14.3	0.0	2.9
福原地区　n=24	70.8	54.2	16.7	8.3	4.2	4.2
大東地区　n=44	70.5	47.7	20.5	18.2	18.2	6.8
霞ケ関地区　n=39	46.2	51.3	17.9	20.5	7.7	5.1
川鶴地区　n=9	33.3	44.4	11.1	11.1	0.0	11.1
霞ケ関北地区　n=3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
名細地区　n=30	83.3	40.0	26.7	10.0	6.7	10.0
山田地区　n=23	73.9	21.7	39.1	13.0	8.7	0.0

（8）商店街に望むこと

◇「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など)」が 56.1%

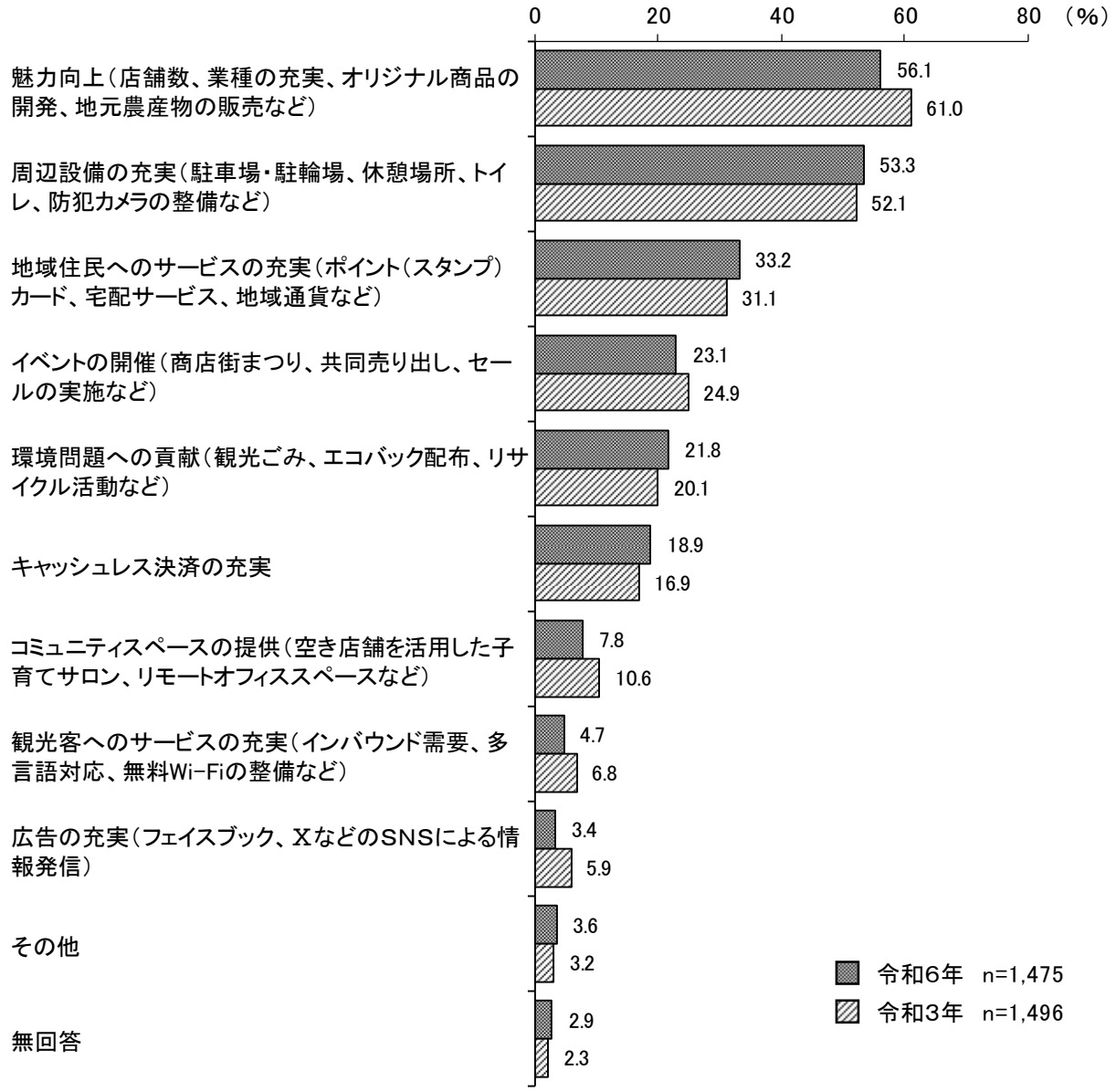
問 12　商店街にどのようなことを望みますか。次の中から３つ以内で選んでください。（３つまで）

商店街に望むことについては、「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など)」が 56.1%で最も高く、次いで「周辺設備の充実（駐車場・駐輪場、休憩場所、トイレ、防犯カメラの整備など)」が 53.3%、「地域住民へのサービスの充実（ポイント（スタンプ）カード、宅配サービス、地域通貨など)」が 33.2%、「イベントの開催（商店街まつり、共同売り出し、セールの実施など)」が 23.1%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）」は、前回調査と比べ 4.9 ポイント減少している。



■ 年代別（上位６項目）

上位６項目を年代別でみると、「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）」は、20 歳代を除き５割台となっている。また、「キャッシュレス決済の充実」は 20 歳代が特に高く、全体を 24.7 ポイント上回っている。

単位：%	魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）	周辺設備の充実（駐車場・駐輪場、休憩場所、トイレ、防犯カメラの整備など）	地域住民へのサービスの充実（ポイント（スタンプ）カード、宅配サービス、地域通貨など）	イベントの開催（商店街まつり、共同売り出し、セールの実施など）	環境問題への貢献（観光ごみ、エコバック配布、リサイクル活動など）	キャッシュレス決済の充実
全体　n=1,475	56.1	53.3	33.2	23.1	21.8	18.9
【年代別】						
18・19歳　n=17	58.8	41.2	29.4	29.4	23.5	29.4
20歳代　n=110	48.2	42.7	30.0	25.5	19.1	43.6
30歳代　n=150	56.7	50.7	30.7	32.7	17.3	24.7
40歳代　n=238	56.7	48.3	34.5	28.6	18.9	27.7
50歳代　n=297	59.3	56.6	35.4	20.5	17.5	19.5
60歳代　n=257	54.5	58.4	33.1	23.3	26.8	12.1
70歳以上　n=375	57.9	55.5	33.3	17.9	25.9	6.4

■ 居住区別（上位６項目）

上位６項目を居住区別でみると、「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）」では、『霞ケ関北地区』が 71.2%で最も高く、次いで『霞ケ関地区』が 65.6%、『名細地区』が 62.5%となっている。

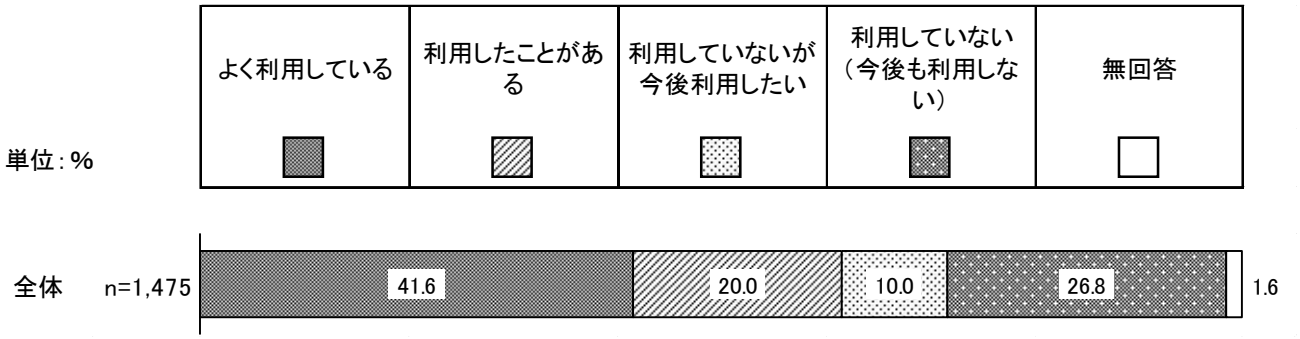
単位：%	魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）	周辺設備の充実（駐車場・駐輪場、休憩場所、トイレ、防犯カメラの整備など）	地域住民へのサービスの充実（ポイント（スタンプ）カード、宅配サービス、地域通貨など）	イベントの開催（商店街まつり、共同売り出し、セールの実施など）	環境問題への貢献（観光ごみ、エコバック配布、リサイクル活動など）	キャッシュレス決済の充実
全体　n=1,475	56.1	53.3	33.2	23.1	21.8	18.9
【居住区別】						
本庁地区　n=330	58.2	49.7	33.6	22.7	24.2	21.5
芳野地区　n=44	52.3	65.9	29.5	22.7	25.0	15.9
古谷地区　n=59	45.8	57.6	42.4	22.0	20.3	15.3
南古谷地区　n=131	52.7	55.0	32.8	30.5	20.6	19.1
高階地区　n=157	58.0	52.2	43.3	24.2	21.7	18.5
福原地区　n=94	46.8	60.6	23.4	20.2	34.0	13.8
大東地区　n=138	55.1	52.9	33.3	26.8	23.2	21.7
霞ケ関地区　n=163	65.6	48.5	33.1	23.9	16.0	23.3
川鶴地区　n=71	59.2	56.3	32.4	21.1	7.0	15.5
霞ケ関北地区　n=52	71.2	44.2	26.9	23.1	21.2	11.5
名細地区　n=96	62.5	60.4	28.1	17.7	17.7	15.6
山田地区　n=77	45.5	55.8	29.9	27.3	22.1	13.0

（9）キャッシュレス決済の利用

◇「よく利用している」が 41.6%

問 13　あなたはスマートフォンを利用したキャッシュレス決済を利用していますか。（１つのみ）

キャッシュレス決済の利用については、「よく利用している」が 41.6%で最も高く、次いで「利用していない（今後も利用しない）」が 26.8%、「利用したことがある」が 20.0%、「利用していないが今後利用したい」が 10.0%となっている。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、「よく利用している」は男女とも 20 歳代が７割台で最も高く、男性 50 歳代以下、女性 40 歳代も５割以上となっているが、70 歳以上は男女とも１割台となっている。一方、「利用していない（今後も利用しない）」は男性 70 歳以上、女性 60 歳代以上で４割台と高くなっている。

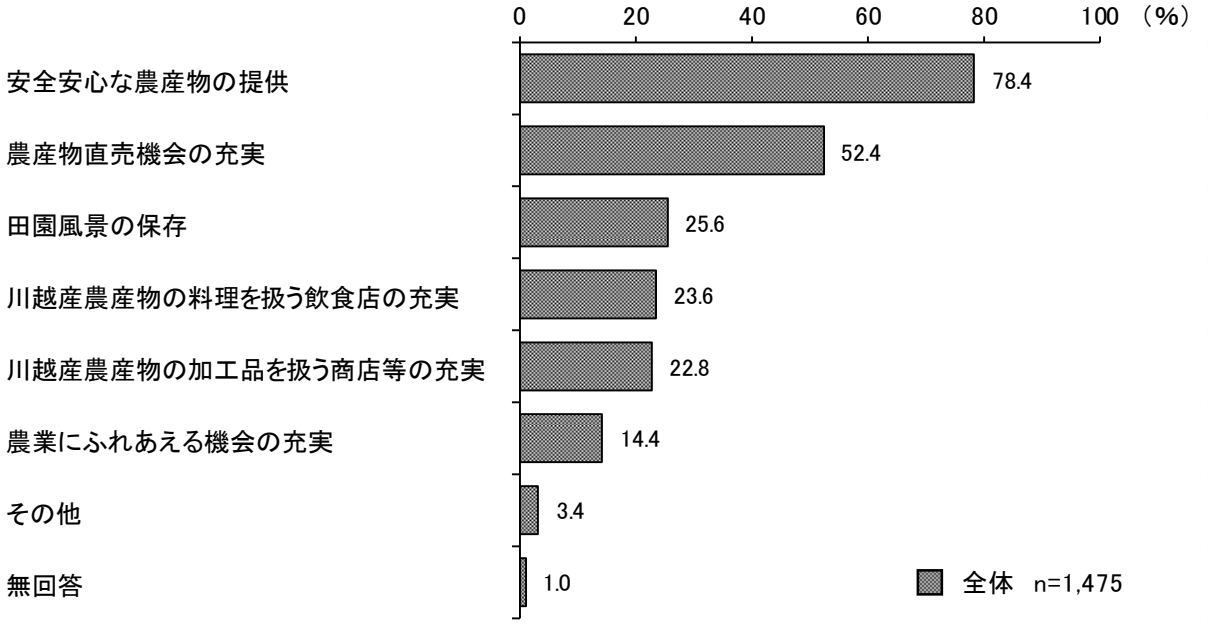
単位：%	よく利用している	利用したことがある	利用していないが今後利用したい	利用していない（今後も利用しない）	無回答
全体　n=1,475	41.6	20.0	10.0	26.8	1.6
【性別・年代別】					
男性　n=597	44.4	16.6	11.4	26.1	1.5
男性18・19歳　n=12	66.7	8.3	0.0	16.7	8.3
男性20歳代　n=50	76.0	12.0	6.0	4.0	2.0
男性30歳代　n=53	60.4	18.9	3.8	15.1	1.9
男性40歳代　n=83	57.8	18.1	7.2	16.9	0.0
男性50歳代　n=120	52.5	19.2	6.7	20.8	0.8
男性60歳代　n=113	39.8	20.4	15.9	23.0	0.9
男性70歳以上　n=166	18.7	12.7	18.7	47.6	2.4
女性　n=829	38.7	22.8	9.4	27.6	1.4
女性18・19歳　n=5	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0
女性20歳代　n=57	70.2	19.3	5.3	3.5	1.8
女性30歳代　n=94	48.9	29.8	6.4	14.9	0.0
女性40歳代　n=148	50.0	27.0	8.8	12.2	2.0
女性50歳代　n=174	49.4	23.6	9.2	17.2	0.6
女性60歳代　n=141	29.1	19.9	8.5	42.6	0.0
女性70歳以上　n=209	14.8	19.6	12.4	49.8	3.3

（10）農業に期待すること

◇「安全安心な農産物の提供」が 78.4%

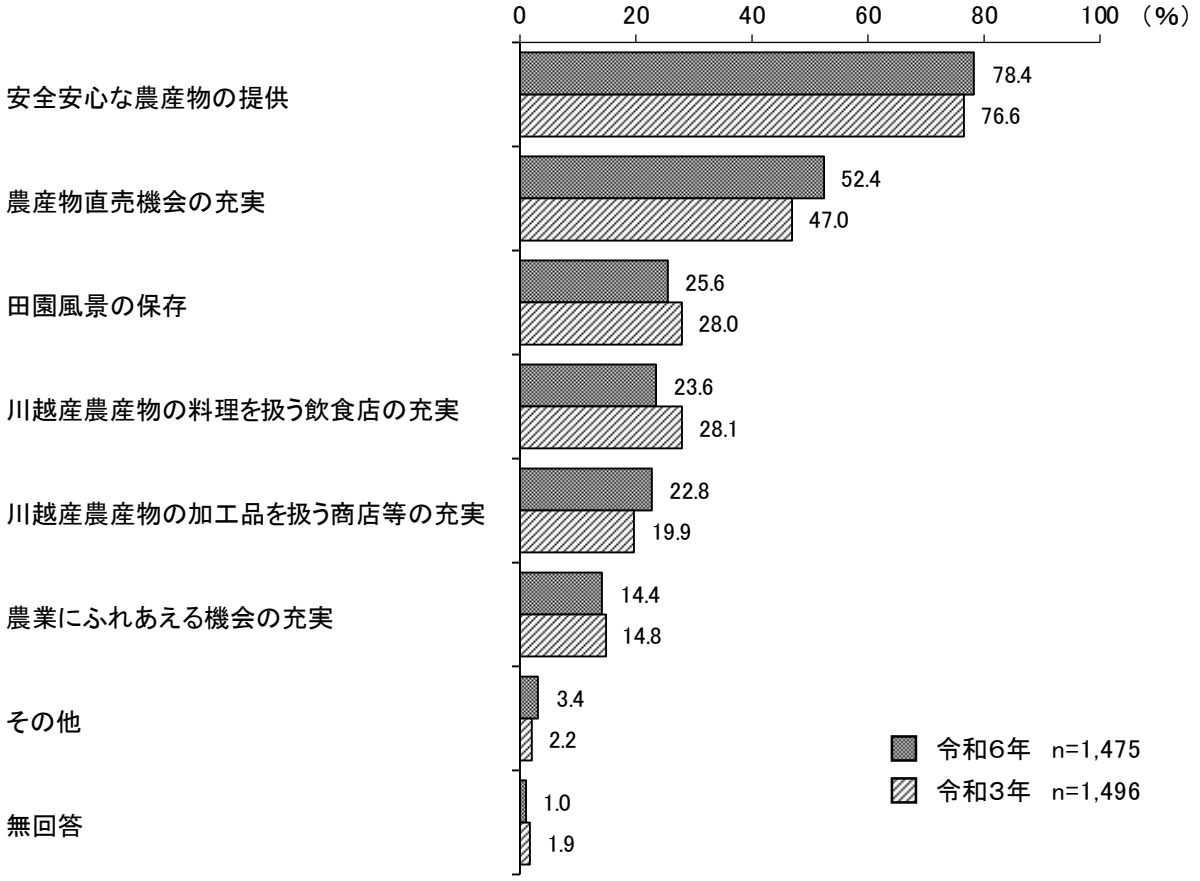
問 14　あなたが農業に期待することは何ですか。（いくつでも）

農業に期待することについては、「安全安心な農産物の提供」が 78.4%で最も高く、次いで「農産物直売機会の充実」が 52.4%、「田園風景の保存」が 25.6%、「川越産農産物の料理を扱う飲食店の充実」が 23.6%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「農産物直売機会の充実」は、前回調査と比べ 5.4 ポイント増加している。一方、「川越産農産物の料理を扱う飲食店の充実」は 4.5 ポイント減少している。



■ 性別・年代別

年代別でみると、「田園風景の保存」は男性、「安全安心な農産物の提供」、「農産物直売機会の充実」は女性でより高くなっている。「安全安心な農産物の提供」は、男女とも全ての年代で６割以上を占め、１位となっている。「農産物直売機会の充実」は、男性 30 歳代、70 歳以上、女性 40 歳代以上で５割以上と高くなっている。「川越産農産物の料理を扱う飲食店の充実」は、男性 30 歳代で４割を超え、男性 40 歳代、女性 20 歳代、50 歳代も３割台と高くなっている。

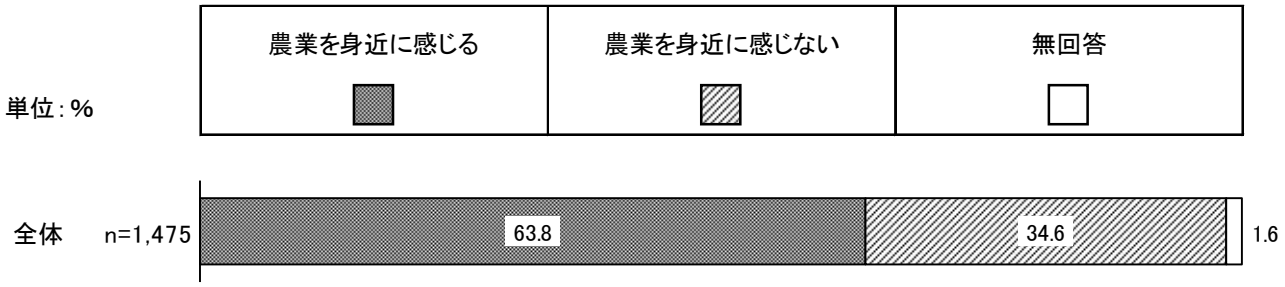
単位：%	安全安心な農産物の提供	農産物直売機会の充実	田園風景の保存	川越産農産物の料理を扱う飲食店の充実	川越産農産物の加工品を扱う商店等の充実	農業にふれあえる機会の充実
全体 n=1,475	78.4	52.4	25.6	23.6	22.8	14.4
【性別・年代別】						
男性 n=597	72.2	46.6	29.1	22.3	24.6	14.4
男性18・19歳 n=12	75.0	25.0	16.7	41.7	25.0	16.7
男性20歳代 n=50	72.0	28.0	22.0	28.0	30.0	18.0
男性30歳代 n=53	69.8	50.9	32.1	41.5	30.2	22.6
男性40歳代 n=83	69.9	39.8	32.5	33.7	26.5	28.9
男性50歳代 n=120	70.8	45.8	27.5	21.7	21.7	13.3
男性60歳代 n=113	72.6	43.4	27.4	20.4	25.7	4.4
男性70歳以上 n=166	74.7	58.4	31.9	9.0	21.7	10.8
女性 n=829	82.9	57.2	23.2	24.8	22.0	14.6
女性18・19歳 n=5	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性20歳代 n=57	77.2	40.4	15.8	31.6	14.0	10.5
女性30歳代 n=94	83.0	44.7	19.1	29.8	20.2	28.7
女性40歳代 n=148	81.8	56.1	20.3	26.4	18.9	20.3
女性50歳代 n=174	83.9	60.9	24.1	32.2	27.6	12.1
女性60歳代 n=141	84.4	67.4	23.4	14.2	20.6	14.2
女性70歳以上 n=209	83.7	58.9	28.7	21.5	23.9	8.1

（11）農業を身近に感じるか

◇「農業を身近に感じる」が 63.8%

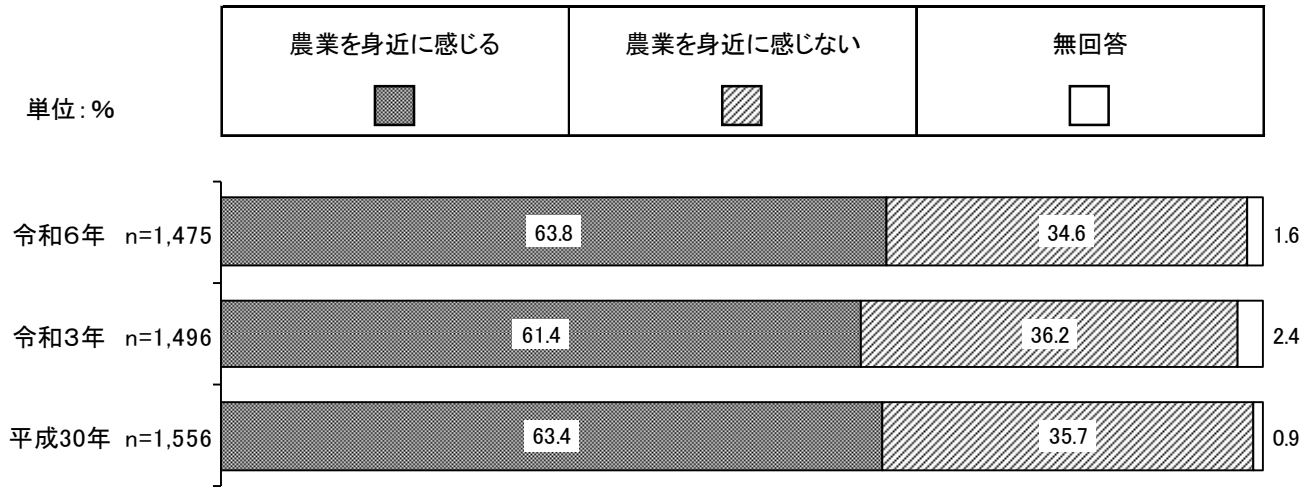
問 15　農業を身近に感じますか。（地場農産物の購入や市民農園の利用、田園風景などを通じて、暮らしの中で農業を身近に感じますか）（１つのみ）

農業を身近に感じるかについては、「農業を身近に感じる」が 63.8%、「農業を身近に感じない」が 34.6%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。



■ 性別・年代別

年代別でみると、「農業を身近に感じる」は、男性全年代、女性 20 歳代以上で５割以上となっており、男性 70 歳以上、女性 60 歳代は７割台と高くなっている。また、60 歳代以下の女性では、「農業を身近に感じる」は年代が高くなるほど増加傾向である一方、「農業を身近に感じない」は年代が低くなるほど増加傾向となっている。

単位：%	農業を身近に感じる	農業を身近に感じない	無回答
全体　n=1,475	63.8	34.6	1.6
【性別・年代別】			
男性　n=597	63.0	35.8	1.2
男性18・19歳　n=12	83.3	16.7	0.0
男性20歳代　n=50	50.0	50.0	0.0
男性30歳代　n=53	66.0	34.0	0.0
男性40歳代　n=83	65.1	34.9	0.0
男性50歳代　n=120	54.2	43.3	2.5
男性60歳代　n=113	59.3	38.9	1.8
男性70歳以上　n=166	72.3	26.5	1.2
女性　n=829	64.7	33.5	1.8
女性18・19歳　n=5	40.0	60.0	0.0
女性20歳代　n=57	52.6	47.4	0.0
女性30歳代　n=94	62.8	36.2	1.1
女性40歳代　n=148	63.5	35.8	0.7
女性50歳代　n=174	64.4	35.1	0.6
女性60歳代　n=141	70.9	27.7	1.4
女性70歳以上　n=209	66.0	29.2	4.8